

レジメン番号	0523	レジメン名	G-CHOP 初回サイクル
登録診療科	血液内科	使用薬剤	ガザイバ、エンドキサン、ドキシソルビシン、オンコビン、プレドニゾロン
がん腫	濾胞性リンパ腫	インターバル日数	21 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 ( / )	Day8 ( / )	Day15 ( / )	…Day21	Day1 ( / )
ガザイバ 1000 mg/body	点滴	mg	↓	↓	↓	3 週間を 1 コース	↓
エンドキサン(CPA) 750mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓				↓
ドキシソルビシン(DXR) 50mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓				↓
オンコビン(VCR) 1.4mg/m <sup>2</sup> (最大 2mg/body)	点滴	mg	↓				↓
プレドニゾロン(PSL) 100mg/body または 50mg/m <sup>2</sup>	経口	mg	D1~5				D1~5
(支持療法) ※1 Day1 経口剤あり							
A) パロノセトロン (0.75mg) B) グラニセトロン (1mg)	点滴	○ を mg	↑				↑

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①ガザイバ	1000mg	生食 210ml	※2 下記参照/輸注ポンプ
②エンドキサン	100mg 500mg	生食 250ml	60 分/点滴
③ドキシソルビシン	10mg 50mg	生食 100ml	15 分/点滴
④オンコビン	1mg	生食 50ml	5 分/点滴
⑤ パロノセトロン または グラニセトロン	0.75mg 1mg	生食 100ml	15 分/点滴

【day1】

投与間隔≫ (メインルート/50ml/hr) (側管) (側管 15 分) (側管 5 分) (側管 15 分) (側管 60 分)

投与順番≫ ⑥ → ① → ⑤ → ④ → ③ → ② → 終了

【day8,15】

投与間隔≫ (メインルート/50ml/hr) (側管/※)

投与順番≫ ⑥ → ① → 終了

【備考】

※1 ガザイバ投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 ガザイバ投与速度

初回： 50mg/hr で開始、30 分毎に 50mg/hr ずつ、最大 400 mg/hr まで上げることができる。

2 回目以降： 前回の投与で Grade2 以上の infusion reaction が発現しなかった場合は、

100mg/hr で投与を開始し、30 分毎に 100mg/hr ずつ、最大 400mg/hr まで上げることができる。

※3 ⑥メインルート：生食 250ml 上記はすべて側管から投与する。